



© JFA / PR



NADESHIKO
JAPAN

VOL.31 2021.07.13

委員長コメント

JFA 女子委員長 今井純子

全国で、豪雨がが続いています。被害のあった地域の皆様にお見舞い申し上げます。また、まだ危険が続いている地域の皆様、どうぞ安全第一でお過ごしいただければと思います。

東京都で4度目の緊急事態宣言、埼玉、千葉、神奈川、大阪の4府県ではまん延防止等重点措置が延長されることとなりました。大会や普及の様々な活動の計画変更を余儀なくされることがあるかと思いますが、こちらもどうぞ安全第一でお願いいたします。また、現在でもすでに蒸し暑い日が多ありますが、これから夏に入っていく、暑熱にも注意が必要となってきます。毎年のことではありますが、選手の安全、また指導者、運営者の皆様もどうぞ健康にはくれぐれもご留意ください。

東京五輪は、いよいよ開幕が目前に迫ってまいりました。様々な議論、判断がある中、チームとしては、与えられた条件の中でベストを尽くし、これまで積み重ねてきた準備の成果を出し切れるよう、日本全国、女子サッカー全体の代表として大会に臨みます。ぜひ応援をよろしくお願いいたします。

お忙しい中、お時間をいただき、登録状況確認と情報交換を個別にさせていただきました。訪問会議に続き、こうして個別にお話しさせていただく機会は非常に有意義と感じています。また、テーマ別ディスカッションでは4つのテーマに関して、皆さんの好事例、課題や工夫を共有する機会とさせていただきます。積極的なご参加どうもありがとうございました。開催日やテーマによっては参加FA数の

バラつきがありましたが、概ね、様々な事例の共有、また共通の課題、お悩みの共有ができました。各FAでの活動の充実に、またJFAとしても今後の施策検討に、参考にさせていただきます。FAの普及施策の全体像の絵を描く良い機会としていただければと思います。

コロナ禍の影響で活動に触れる機会、続ける機会を逸してしまった学年や子ども達がいるとしたら、なんとかフォローしていきたいものだと思いますので、こちらもぜひご留意ください。

また、各テーマとの関連でもお話しさせていただきましたが、女子は様々な種別や連盟との関わりの中でプレーしています。ぜひFA内の様々な委員会、種別、連盟等々と連携をとり、女子だけのマンパワーや資源だけでなく、拡がりをもって女子普及を進めていただければと思います。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

茨城県

廣原 啓二さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

これまで微増を辿ってきた登録選手数が減少傾向に転じており、要因分析の必要性を感じています。特に「U-12年代の減少」及び「U-15年代でも選手継続」のところは、明確な課題と捉えています。

一方で、数値に惑わされることなく、小規模フェスティバル、なでしこひろば及びスクールなどの拠点整備、とにかく身近でサッカーができる機会「やり場」を創出する工夫も重要と捉えています。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜U-15年代でも選手継続＞

今年度初めの女子委員会総会において登録選手数の推移を説明し、活動目標を披露した中で、重点目標を「U-15年代でも選手継続」と説きました。

その後、U-15部会内に配置したプロジェクトメンバーとともに第4種委員会女子部会に出席し、現状把握と今後の取り組みなど意見交換を行い、その中でU-12年代の受け皿となるU-15チームの活動状況の情報発信が足りないという問題提起がありました。

そこで、手始めとして6月に行われるガールズ大会とU-15リーグの試合を2週にわたり同一会場にて行うことにし、あわせてガールズ大会のプログラムに県内U-15チームのマップとそれぞれの活動状況がわかるチーム広告を掲載しました。(ガールズ大会の画像添付)

また、U-15と第4種女子の連携における次の取り組みとしてはフェスティバルを考えており、いろいろな方々の知恵をいただきながら、たくさんのU-12年代選手が集まる企画を作り上げたいと思っています。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

FA内の連携としては、キッズ委員会の定例会議に出席するなど前述の第4種委員会との連携は特に重要と捉え、運営協力及び共同事業の実施につなげて行きたいと思っています。

また、Jクラブの鹿島アントラーズ及び水戸ホーリーホックとも協力関係を継続し、積極的にフェスティバルを展開しているこの2チームから、その企画・運営に関するノウハウを享受していただくとともに、スクールなど拠点づくりもお願いしていきたいと考えています。既にアントラーズには、ひたちなか市において月1回のガールズサッカー教室を実施いただいております、参加者募集などの協力をさせていただいて

【今後の目標】

- (1) 女性指導者育成…女性限定の指導者ライセンス取得講習会の実施。
19歳以上の選手を受講対象に検討を進めています。また、取得後の実践の場をフォローしていきたいと考えています。
- (2) ゴールキーパー・トレーニングメニュー講習会…主にGKコーチのいないチーム指導者向け。
リーグ戦終了後の時間帯に対象指導者を集め、トレセンGKコーチによる指導実践を検討中。
- (3) グラスルーツ年代のプレー機会の創出…小規模フェスティバル(少人数サッカー)の地域展開、幼稚園リーグの(モデル地区設定して)実施。キッズ委員会との連携(共同)により、U-12年代選手減少の鈍化につなげていきたい。
- (4) リーグ戦の整備…U-18プレリーグの実施(関東U-18リーグの公式戦化とともに、U-18年代でも選手継続する環境整備)



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

栃木県

大森 美幸さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

サッカーファミリー拡大に向けた課題

- ①キッズ年代の女子の拡大・把握
- ②中学校年代への橋渡しや登録減少を防ぐ
- ③フェスティバル・なでしこひろばの工夫
- ④普及活動に関わる仲間を増やす

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜未登録者への働きかけ・仲間を増やす＞

今年は栃木県にてなでしこジャパンの国際親善試合があり、レガシープログラムとして、5月末～「フェスティバル4回・夢授業(オンライン)4校・なでしこジャパン選手とのWEB交流会」などを企画しました。この機会を無駄にせず、今後も未登録の小学生女子～大人女子までの様々な事業を企画し、サッカーファミリー拡大に向けて取り組みたいと考えています。

また、FAの登録拡大推進事業として、女子スタッフを充実させフットボールセンターを活用した「なでしこひろば」の開催を月1回行っており、小学生と・中学生以上の2部構成にし、中学生以上はウォーキングフットボールの設定にし、サッカーチームの保護者の方や全くサッカーに関係の無い方(お母さん)が多数継続して参加してくれています。まずは、一緒にボールを追いかけて、汗を流し、笑い会える仲間を増やし、楽しんで頂ける場の提供をしつつ、未登録から登録に繋がるような働きかけをして行く予定です。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

昨年度よりFAにグラスルーツ委員会の立上げを行い、今年度より本格的に活動を開始しました。普及事業の充実・各種別との連携・現状までのフェスティバル(女子・キッズ)の見直しも含め、各種別の登録に繋がる活動になるよう、まずは女子、キッズを重点的に事業の見直し・拡充をしながらフェスティバルの充実を目指しています。特に4種との連携は不可欠なので、グラスルーツ委員会キッズ部会と4種の7地区との連携を強化し、その中で女子も一緒になって様々な課題に取り組んで行きたいと考えています。

また、自治体のスポーツ振興課等と連携をとり、ウォーキングフットボールの普及も進めて行きたいと考えています。

【今後の目標】

FAに設立したグラスルーツ委員会をより良い委員会にする為、他種別との繋がりを大切にしながら、フェスティバルがどの種別でも行え、またどの種別でも登録拡大に繋がるように、女子から発信をし、競技人口だけではなく女性指導者数も増えるような企画を目標にしたいと思います。



普及コーディネーター取り組み事例紹介③

群馬県

宇津江 智保さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

継続されている課題として大きなものは、U-12からU-15での登録数の落ち込みです。課題に取り組むにあたっては、キッズからU-12女子、4種の連携、U-15女子と3種の連携、そしてFA全体での理解と連携が重要であると考えております。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜サッカーに関わる女性を増やすためにできること＞

今年度、指導者養成講習会の女性コースを初めて立ち上げました。4月に開催したD級コーチ養成講習会では4名の方が受講され、補助プレイヤーとして小学生～一般までの女子選手にご協力をいただきました。受講生は少人数ではありましたが、皆さん大変熱心に受講していただき、また補助プレイヤーも各チームにご理解とご協力をいただいたことで、無事に開催することができました。

今回のような講習会開催に伴い、多くの女性が関わることで、さらにそこから繋がりや繋がりを生んだり、ライセンスへの興味関心が得られたりなど様々な可能性を感じました。今後も、講習会やイベントの場に多くの女子選手や関係者に関わってもらい、女子の取り組みへの認知拡大に繋がれたらと思います。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

県協会としての課題の一つに『女子の普及・育成・強化』を挙げ、専務理事の強い問題意識と実行力の下、力を入れて取り組むことへの理解が広がりつつあります。体制として、FAコーチ、普及Cが県協会事務局員として在籍していることで、情報共有や連携を図ることができるのは、大変大きなことだと感じています。

女子の現状と今後の取り組みへの理解と協力を得られるよう、各種別との連携を図ること、また女子の中でも横の繋がりを深められるように、自身の活動の範囲を広げていきたいと考えています。

【今後の目標】

県内の選手登録数は高校生年代が最も多く、高校でサッカーを始める選手が多数いるのは本県の特徴の一つです。ですが、卒業とともにサッカーから離れる選手が多いのも実状です。今後の事業におけるテーマの一つとして、高校生の力を借りること、また卒業後もサッカーに関わりを持ち続けるきっかけを作ること掲げていきます。各高校でのキッズリーダー養成講習会の開催や、イベントのサポートスタッフとしての活動、審判資格の取得・昇級の勧め等、活躍の場を作れるよう多くの方のご協力とご助言をいただきながら、実施していきたいです。

また、キッズ～U-15年代への女性の関わりを増やすために、指導者養成だけでなく、イベントや練習会の企画・実施において、男女問わず多くの方を巻き込んで、理解者を増やしFA全体として取り組んでいくことを目標として活動していきたいと思っています。

女性の関わりの増加、女子への理解・関わりの変化が生じることで、現状と課題が改善に向かうことに繋がればと考えております。

普及コーディネーター取り組み事例紹介④

埼玉県

長谷川 百合矢さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

さいたま市ではさいたま市立常盤中学校とさいたま市立原山中学校に女子サッカー部が存在しているため、市内戦を行っている。6月は学校総合体育大会が行われた。両校の選手のモチベーションは、新人体育大会と学校総合体育大会で対戦し勝利することであるが、県・関東・全国大会につながらないことを残念に思っている。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜さいたま原山フェスティバル開催＞

2016年より開催している。参加チームは県内高校女子サッカー部、市内中学校男子サッカー部（サテライト）、PETITEなでしこ（中体連合同チーム）さいたま市立常盤中学校等である。4チームから始まったフェスティバルは2019年には16チームが参加する大会となった。2日間開催で、1日目を予選リーグ・2日目を順位別リーグにしている。今後も様々なチームと交流できる場として発展させていき、大会の少ない女子中学生のモチベーションとなるような大会にしていきたい。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

現在、さいたま市ではPETITEなでしこというチームがある。さいたま市の生徒であれば、誰もが所属可能であり、月に3～4回程度集まって活動している。生徒の多くは、小学校でサッカーをしていたが、中学校の部活に女子サッカー部がないため、中学校ではサッカー以外の部活動に所属しながらPETITEなでしこに所属している。今後はスタッフの数を増やして、1チームから2チーム3チームと増やし選手数を増やしていきたい。

【今後の目標】

今後は、中学生女子チームを増やし、市内大会・県大会・関東大会・全国大会とつながるようにしていきたい。そのためには、中学校の部活に所属する女子選手を増やしていく取り組みが必須である。PETITEなでしこのPRを行い、生徒のニーズにも合わせた練習計画を立てて、安定した活動をしていきたい。

「体育の授業でしかサッカーはやったことないけれど、やってみたい」「中学校でも継続的にサッカーを楽しみたい」という女子選手を増やすことが目標である。また、少女年代の普及・発展のためにも尽力していきたい。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑤

千葉県

寺島 芳人さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

今年度はコロナ禍で様々な制限がある中、小学生女子を対象としたJFAガールズサッカーフェスティバル2021千葉を、年数回に分けて参加人数を分散させながら実施予定です。その第1回目が去るGWに行われました。今回は小学4年生から6年生を中心にミニサッカー大会を開催し、約120名が参加しました。普段男女ミックスチームで活動している選手達も合同チームを作って女子サッカーの機会を楽しみました。初めて女子サッカーに触れた選手の多くは、その楽しさを体験し会場には活気と笑顔が溢れていました。引率された指導者の方々からは、高学年に向けてサッカー継続の機会になる様に、低学年に向けても開催して欲しいとの声を頂きました。次回以降で個人参加も含めて1年生から3年生に向けたフェスティバルを開催して行きます。

一方で新たなファミリー獲得に向けての課題として、キッズ委員会と4種委員会の連携も重要と言う認識です。サッカーに触れ楽しいと感じた熱いうちに、次の機会に結び付けて行く動きを模索して行きたいと思います。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜U12とU13の橋渡し(その後)＞

普及Cとして2年目を迎え引き続きの活動にります。昨年度末に(回答頂けた範囲で)県内6年生の進路調査をさせて頂きました。72%の選手が何らかの形でサッカーを継続すると事が分かりました。またその進路先は当然の如く自宅から通える範囲と言う結果も明確になりました。そこで、4種年代の選手をエリアでグループ分けし、そのエリアの拠点になりそうなU15チームとの交流を図る機会を設けたく動き始めました。広い県内を分化する事で移動も減り、開催調整しやすくなるのではないかと考えています。4種委員会と女子委員会、種別を越えた共同事業になりますので、コンセンサスを取りながら色々と調整しながらの進行になります。小学生が中学生のサッカーを体験する事で、目標を持ってサッカーを継続してもらえるのではないか、U15チーム指導者がU12年代の選手を把握する事で長期的な強化に結び付くのではないか、と考えています。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑥

東京都

石森 由紀さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

東京都の女子選手数は現状は大きな増減はありませんが、U12年代の女子チームにおいて選手数が少しずつ減少し、合同チームで大会に参加するケースなどが見受けられていること、小学校・中学校の卒業・入学時にサッカーから離れてしまうことが多くなっていることから、「新規」と「継続」が大きな課題と捉えています。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

私は昨年2020年度の就任時に、2つの企画を考案しました。

1つは①女子サッカーチーム情報紹介プロジェクト～サッカーファミリーを絶やさない作戦～で、中学生以上の選手を募集しているチームの情報を集め、纏めて、情報難民と思われる女子選手・保護者に届けました。

もう1つの企画②女子サッカー普及プロジェクト～サッカーファミリーを増やす計画～は、「新規選手獲得」「継続選手獲得」という課題+「女子指導者育成」という3つをターゲットに、なでしこひろばを活用したイベントの開催を考えました。昨年度はコロナ禍もあり難しい状況で開催できませんでした。同企画が少年連盟が取組む47FA一括補助金「登録拡大推進事業」に採用されたタイミングで、東京FAよりJFAレガシープログラムの一環として開催するご提案を頂き、東京FA・少年連盟ともう1人の普及コーディネーター阿部さんが女子・中体連にも協力を仰いで下さり、今年4月11日になでしこジャパンの代表戦のピッチで開催が実現しました。当日は小学生46人・中学生10人の参加があり、「楽しかった!」「今後もこういうイベントが開催されると嬉しい」といった参加者・保護者からの好評を頂くことができました。課題克服に向けて、今後定期的に都内各地域で開催していく予定です。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

少年連盟に普及部の他に女子担当が置かれたことにより、U12年代での女子サッカーの普及に課題である「新規獲得」の動きが出てきました。もう1つの課題である「継続」には中学生以上の選手を受け入れるクラブとの連携が必要ですし、普及活動にはたくさんの力が必要です。東京には2名の普及コーディネーターがおり、主に中学生以上とU12と分かれて担当していますので、協力して各所との関わりを深め、見る・考えるだけでなく、活動を実行していけたら良いと思います。

【今後の目標】

「登録拡大推進事業」の短期目標では、年2回と計画されていましたが、4月11日(なでしこ代表戦)のレガシープログラム「なでしこひろば」の成功により、少年連盟普及部を中心に東京FAの協力を受けながら定期的になでしこひろばを開催していくことになりました。早速5月29日に東京FAから会場提供を頂き、開催準備をしておりましたが、残念ながら緊急事態宣言により中止となりました。この回では「女性指導者研修会」も開催し、そこに参加した女性指導者の皆さんも一緒になでしこひろばで活動頂く予定でした。このようになでしこひろばを活用して、「新規」を獲得するためのサッカー教室や「継続」を獲得するためのU15年代との交流ミニサッカー大会に「女子指導者の育成」を目的に女性指導者研修会をコラボレーション開催するなどして、選手・指導者といった女子サッカーファミリーを拡大していくことが現在の目標です。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑦

神奈川県

桑原 由恵さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

神奈川県の女子選手数はコロナ禍の中でも微増しています。今後もっとサッカーファミリー拡大にむけては【一般選手(18歳以上)の受け皿となるチームの増加】と【中学・高校年代の西部地区の開拓】の2つが鍵になると考えます。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマくなでしこひろば開催を神奈川FA女子部会が後押し!!>

神奈川FA女子部会では今年度からの取り組みとして、なでしこひろば開催の協力を4種のチームを中心をお願いしています。開催にあたる経費に関して、神奈川FA女子部会が補助をしています。まだ始めたばかりなので、周知・活用・効果などは模索中な部分が多いですが、[誰でも・いつでも・どこでも、サッカーが出来る環境が神奈川にはある]と実感してもらえるように進めていきたいと思っています。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

先述も神奈川FAの取り組みの一つですが、神奈川FAは普及の面でたくさんの方の後押しをいただいています。またFAだけではなく、神奈川県にあり、WEリーグ所属のノジマステラ神奈川相模原では、選手たちがC級コーチ養成講習会に参加・取得し、C級ライセンスを持った選手がなでしこひろばでコーチを担当し子ども達に指導をしてくれました。これまではそれぞれの活動範囲内で混じり合うことが少なかった人たちが、なでしこひろばや養成講習会など垣根を越えてサッカーファミリーとして同じ場を共有できていること嬉しく思います。そういう場が当たり前にあるように、各地域・各種別・各チームとの関わりを増やしていきたいと思っています。

【今後の目標】

神奈川県は女性選手も多く、トップレベルのチーム(ノジマステラ神奈川相模原・ニッパツ横浜FCシーガルズ・大和シルフィード・日体大FIELDS横浜)もあり、育成でも多くのチームで女性指導者がいます。このような状況になっているのも、これまで尽力していただいた多くの関係者のお陰です。今後の目標としては、更なるサッカーファミリー拡大に向けて、【一般選手(18歳以上)の受け皿となるチームの増加】と【中学・高校年代の西部地区の開拓】を目を向けていきたいと思っています。今後多くの方と意見交換・情報交換をして、しっかりと現状→分析→取組→効果を整えた上で前に進めていければと思います。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑧

山梨県

清水 たけみさん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

昨年9月、コロナ禍ではあったが、本県では感染状況が落ち着いてきたために「ガールズ・ママさんサッカーフェスティバル」を開催することができた。当日は、感染予防対策を取りながらもU12女子同士の対戦及びママさんチームとの対戦などで交流を深めた。

本来は普及としてサッカー未経験者の参加を募る計画をしていたが、コロナ感染症への対策として体調管理が把握できる既存チームの参加を仰ぎ実施した。参加者はU12女子6チーム選手約80人、ママさん2チーム約25人、スタッフ及び運営要員約30人、観戦者約50人の合計約185人。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜U12年代～U15年代への橋渡し＞

山梨でも他都県と同様U12までサッカーを続けてきた女子が、U15年代に入るとサッカーを辞めてしまう傾向がある。県内にあるU-15のチームはわずか3チーム。中学の部活に入って男子選手と一緒に活動する選手もそう多くはないため、まずはU12女子選手がU15の選手と接点を持ちつながら意識していきたいと考えた。

そこで、U12及びU15の県トレセン日、会場を同一とし開催した。当日の参加者は、U12選手：40人、スタッフ10人、U15選手：48人（うち中体連からの参加者は3人のみ）、スタッフ6人と、本県のYD及びナショナルトレセンコーチ 関東女子チーフ：能仲さんも視察して下さった。

今後今年度10月に開催予定している「YFA U12女子サッカー大会」においても運営にU15女子チームの協力を仰ぎながら実施していく予定である。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

①本県中北部にある韮崎市サッカー協会が主催するサッカー教室。地元Jチームであるヴァンフォーレ甲府のスクールコーチの指導を受けることにより、選手育成及びスタッフの指導力向上を狙いとして開催している。その中で、人数は少ないが9名の女子選手も参加し、男子の中で活動している。

U12女子サッカーリーグとして「なでしこリーグ」を実施しているが、女子のみのチームで活動している女子選手にとってこの取り組みに参加することはとても新鮮で、新たな刺激をもらえる貴重な機会であると捉えている。今後他の自治体やクラブ等にも働きかけていきたい。

②未登録のママさん世代の活動をFAで支援することにより登録化へと目指す。

課題として、現在山梨県内のママさんサッカーチームは15チーム既存しているが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響を受けほとんどの大会等が中止されていたり、大会そのものが無くなってしまった経過がある。そのため徐々に

サッカーから離れてしまった選手もいる。そこで、FA主催が試合環境を支援することで、関東大会出場を目指す選手、チームの意識づくりに寄与し、いずれは女子委員会内にママさん世代の部（仮称ミセス部）を創設し、リーグ戦等実施できるようしたいと考えている。6月に第2回を実施した。前回よりも参加者が増えているので、継続していきたい。

【今後の目標】

①YFAでは、県内180園の巡回サッカー教室を実施している。そこでU6キッズ・サッカー巡回指導の一環として、園児がその成果を披露できる場を提供するとともに、園児同士の交流とサッカーを通じた健康増進をめざし実施していきたいと考えている。また、今後この事業を継続することでU12サッカー登録へとつなげていけるきっかけになると共に市町村での開催により地域貢献にもつながる。

②「FCふじざくら山梨」との交流及び指導を受けることによりU12、U15女子合同のフェスティバルを開催する。

③未開拓地への「なでしこひろば」開催申請。



JFA U-18 女子サッカーファイナルズ2021

今年からU-18年代を対象とした新規大会がスタートします。現在の形式では対戦する機会の少ない全国高等学校体育連盟の所属チームと、日本クラブユースサッカー連盟の所属チームが対戦し、U-18年代女子チームの真の日本一を決定します。

本大会には「令和3年度全国高等学校総合体育大会の優勝・準優勝の2チーム」と「XF CUP 2021 第3回日本クラブユース女子サッカー大会（U-18）の優勝・準優勝の2チーム」の4チームが出場し、サンガスタジアム by KYOCERA（京都府亀岡市）にて、9月18日（土）に準決勝、9月20日（月・祝）に決勝戦を行います。

【大会概要】

名称：JFA U-18女子サッカーファイナルズ2021

主催：公益財団法人日本サッカー協会

主管：一般社団法人京都府サッカー協会

協賛：JFA Youth & Development Official Partner

トヨタ自動車株式会社

ニチバン株式会社

株式会社モルテン

日程：準決勝・・・2021年9月18日（土）／ 決勝・・・9月20日（月・祝）

会場：サンガスタジアム by KYOCERA（京都府亀岡市）

参加チーム：令和3年度全国高等学校総合体育大会の優勝・準優勝の2チーム

XF CUP 2021 第3回日本クラブユース女子サッカー大会（U-18）の優勝・準優勝の2チーム

大会形式：ノックアウト形式（第3位決定戦は行わない）

勝敗が決定しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する



JFA U-18
WOMEN'S FOOTBALL FINALS
2021

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)サッカー競技 女性審判員3名が参加へ



※写真左から手代木副審、山下主審、坊菌副審

7月23日(木・祝)より開幕の第32回オリンピック競技大会(2020/東京)サッカー競技において、女性審判員3名がアポイントされています。手代木直美副審は前回のリオデジャネイロ大会に続いて2回目、山下良美主審と坊菌真琴副審は初めてのオリンピック競技大会参加となります。なでしこジャパンだけではなく、試合を担当する女性審判員3名へのご注目、ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

■山下 良美(ヤマシタ ヨシミ) 主審

国際審判員登録：2015年

主な国際大会：

- 2015年 第28回ユニバーシアード競技大会(2015/光州)
- 2016年 FIFA U-17女子ワールドカップヨルダン2016
- 2017年 第29回ユニバーシアード競技大会(2017/台北)
- 2017年 アルガルベカップ2017
- 2018年 AFC女子アジアカップヨルダン2018
- 2018年 FIFA U-17女子ワールドカップウルグアイ2018
- 2019年 FIFA女子ワールドカップフランス2019
- 2019年 AFCカップ2019

■坊菌 真琴(ボウゾノ マコト) 副審

国際審判員登録：2015年

主な国際大会：

- 2017年 アルガルベカップ2017
- 2018年 FIFA U-17女子ワールドカップウルグアイ2018
- 2019年 FIFA女子ワールドカップフランス2019
- 2019年 AFCカップ2019

■手代木 直美(テシロギ ナオミ) 副審

国際審判員登録：2013年

主な国際大会：

- 2013年 AFC U-16女子選手権中国2013
- 2013年 AFC U-19女子選手権中国2013
- 2013年 アルガルベカップ2013
- 2014年 AFC女子アジアカップベトナム2014
- 2015年 FIFA女子ワールドカップカナダ2015
- 2015年 AFC U-19女子選手権中国2015
- 2016年 第31回オリンピック競技大会
(リオデジャネイロ)
- 2018年 AFC女子アジアカップヨルダン2018
- 2018年 FIFA U-17女子ワールドカップウルグアイ2018

2021年度JFA/WE女性リーダーシッププログラムが開講

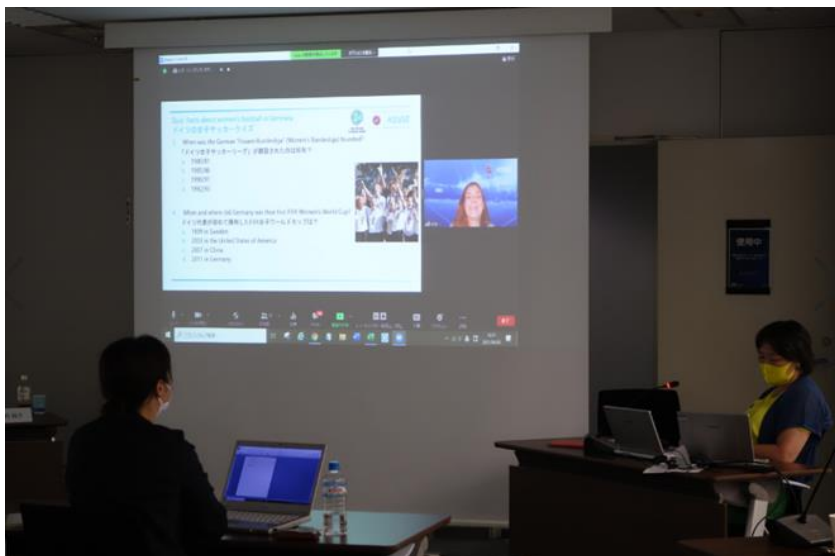


『2021年度JFA女性リーダーシッププログラム』が6月26日(土)に開講しました。

JFAは女性活躍推進を推し進めるため、昨年から一般社団法人日本女子サッカーリーグ(WEリーグ)と共催で、サッカー界・スポーツ界を牽引する女性役員・経営層を育成するという目的の下に、本プログラムを新設しました。

WEリーグは「日本の女性活躍社会を牽引する」を第一の設立意義として掲げ、運営にあたる法人を構成する役職員の50%以上を女性とすることや、意思決定に関わる者のうち少なくとも1人は女性とすることをリーグに所属するクラブの条件としています。WEリーグとJFAがともにその動きを後押しし、加速させるためにこのプログラムを創設したという背景があります。

第2回目となる今回も昨年に引き続き、47都道府県サッカー協会の役員やWEリーグ・なでしこリーグ所属クラブ、リーグや連盟の経営層候補となっている女性12名が全国から集い、約4か月間に渡るプログラムに取り組みます。



講義の冒頭では、田嶋JFA会長、WEリーグの岡島チェアから、これからのサッカー、スポーツ界を担っていく2期生への期待と激励のメッセージが送られました。山口香JFA理事からの基調講演やドイツサッカー協会の職員を講師に迎えての『ドイツにおける女性活躍の状況』に関する講義の他、『世界における日本女子サッカー』や『社会におけるジェンダー』といったトピックでの講義やディスカッションを通じて、受講生それぞれが自己認識やこれまでの経験を顧みる2日間となりました。



また今回の第1モジュールは、今年2月にプログラムを修了した1期生のフォローアップ研修としても開催され、最終モジュールで発表したアクションプランの進捗状況を報告しました。2期生は、1期生の活躍する姿に刺激を受けただけでなく、これからの4か月間のプログラムへの期待と決意を新たにしました。2日間の最後には、リモートで修了式に参加できなかった1期生への修了証と記念品授与のセレモニーも実施されました。次回、7月末に行われる第2モジュールでは、コミュニケーションやクラブ運営等、より実践的な講義が組まれています。

※関連ページ：こちらもぜひご覧ください。

■JFAの女性活躍推進の取り組み

http://www.jfa.jp/social_action_programme/womens_empowerment/

■ニュース：2021年度女性リーダーシッププログラム第1モジュールが開講

<http://www.jfa.jp/news/00027322/>

株式会社ウェブシャーク（Yogibo）とWEリーグ タイトルパートナー契約を締結 ～Yogibo WEリーグとして9月12日に開幕！～



WEリーグは、「Yogibo(ヨギボー)」ブランドの家具、ビーズソファなどを日本国内に展開する株式会社ウェブシャークと2021-22シーズンから2022-23シーズンまでの2シーズンにおいて「WEリーグタイトルパートナー契約」を締結することを決定しました。これに伴い、株式会社ウェブシャークは、WEリーグタイトルパートナーとなり、WEリーグは同社の主力製品名を冠とした「Yogibo WEリーグ」として開催いたします。

また、株式会社ウェブシャークとWEリーグは、ウーマンエンパワーメントに代表されるソーシャル活動をはじめ、「センサリールーム」（大きな音や強い光に配慮した観戦・観覧設備）の啓発・設置などに取り組み、「多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会」を共創していきます。

<WEリーグタイトルパートナー>

企業名

株式会社ウェブシャーク

<契約期間>

2021年7月1日～2023年6月30日（2年間）

<大会名称>

（日本語表記）2021 - 22 Yogibo WEリーグ

（英語表記）2021 - 22 Yogibo WE LEAGUE

<大会タイトルマーク>



<WEリーグタイトルパートナー>

株式会社ウェブシャーク

代表者：代表取締役社長 木村 誠司

所在地：〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-6-5

設立：2002 年

主な事業：

自社ITサービスの展開、2014年11月に米Yogibo社と日本総代理店契約締結、Yogiboの日本国内販売事業を展開、世界初のエッグウィッチ専門店 ドン・ウォーリー・エッグウィッチの運営



<WEリーグ岡島喜久子チェアコメント>

この度は、タイトルパートナーとしてWEリーグならびに女子サッカー界を支えていただくことに心より感謝申し上げます。Yogiboは心と体を包み込み、私たちに活力を与えて外の世界に送り出してくれます。Yogibo製品を数多く展開し、注目を集めているウェブシャーク様とWEリーグが掲げる理念の実現に向けて共に取り組んでいけることを大変嬉しく心強く感じています。

ウェブシャーク様はご家庭だけでなく、様々な場所で心地よい環境づくりを推進されています。WEリーグでも多様性にあふれた社会の縮図となるコミュニティを目指しています。2021年より開始されたセンサリールームの導入事業についても、WEリーグが起点となり全国ようなスタジアムづくりやへ広がっていくよう手を取り合っていきます。女子サッカーやWEリーグが掛け合わさることでより良い化学反応を生み出し、新たな価値を創出していけると確信しております。「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展」を共に実現するパートナーとして共に成長していきたいと思いをします。

<https://weleague.jp/news/217/>



WEリーグのオフィシャルブロードキャスティングパートナーに DAZNが決定 ～8シーズンにわたって放映が決定～

WEリーグは2021-22シーズンから2028-29シーズンまでの8シーズンにわたって、スポーツ専門ライブストリーミングサービスを提供するDAZNをオフィシャルブロードキャスティングパートナーとすることに合意しました。

DAZNは2016年から日本国内でのサービスを開始し、明治安田生命Jリーグ、プロ野球などの国内主要スポーツや世界各国のスポーツコンテンツを多数配信しています。スポーツコンテンツの配信に実績のあるDAZNとともに、魅力あふれるYogibo WEリーグの観戦体験をお届けします。

なお、Yogibo WEリーグはDAZNで配信されるほか、より多くの方々に女子サッカーを観て知っていただくために、一定数の試合をDAZN YouTubeチャンネルやソーシャルチャンネル等にて無料でご覧いただける予定です。

また、ライブ配信映像はWEリーグ公式映像としてWEリーグが著作権をもって制作します。公式映像はDAZNでの配信の他、広報活動や競技力の向上などに活用していきます。

<WEリーグオフィシャルブロードキャスティングパートナー>

DAZN

<期間>

2021-22 ～ 2028-29シーズン（8シーズン）

<放映対象大会>

Yogibo WEリーグ

<配信プラットフォーム>

【有料】 DAZN

【無料】 DAZN YouTubeチャンネルやソーシャルチャンネル等

※各節、有料と無料を織り交ぜて配信予定

<権利内容>

インターネット・モバイル配信（海外配信含む）

<その他>

DAZNでの配信映像はWEリーグ公式映像としてWEリーグが制作。

※備考：Yogibo WEリーグについては、無料のテレビ放送局等でも一部放送予定。

<https://weleague.jp/news/218/>

2021-22 Yogibo WEリーグ 第1～3節 キックオフ時刻決定

日本初の女子プロサッカーリーグ

WE LEAGUE

9/12(日)開幕



2021-22 Yogibo WEリーグ 第1節～第3節のキックオフ時刻が決定しましたので、以下の通り発表します。

WEリーグは、全11クラブがホームタウンでの開幕戦を迎える第1節～第3節を「開幕節」と総称し、9月12日（日）に日本初の女子プロサッカーリーグとして開幕します。

<https://weleague.jp/news/216/>

記

大会概要（抜粋）

大会名称：（日本語表記）2021-22 Yogibo WEリーグ ※読み方は「ニセンニジュウイチ ニジュウニ ヨギボー ウィーリーグ」
（英語表記）2021-22 Yogibo WE LEAGUE

主催：公益財団法人日本サッカー協会／公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ

大会方式：ホーム＆アウェイ方式による総当たりリーグ戦 【全22節／110試合】

開催期間：2021年9月12日（日）～2022年5月21日（土）または22日（日）予定

2021-22 Yogibo WEリーグ 第1～3節 日程

節	開催日	曜日	キックオフ	対戦カード	会場
1	9/12	日	10:00 ★	INAC 神戸レオネッサ vs 大宮アルディージャ VENTUS	ノエスタ
	9/12	日	13:30 ★	日テレ・東京ヴェルディベレーザ vs 三菱重工浦和レッズレディース	味フィ西
	9/12	日	16:00 ★	マイナビ仙台レディース vs ノジマステラ神奈川相模原	ユアスタ
	9/12	日	17:00 ★	ちふれ AS エルフェン埼玉 vs サンフレッチェ広島レジーナ	熊谷陸
	9/12	日	17:00 ★	アルビレックス新潟レディース vs AC 長野パルセイロ・レディース	デンカ S
	理念推進日			ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	-
2	9/18	土	17:00 ★	AC 長野パルセイロ・レディース vs 日テレ・東京ヴェルディベレーザ	長野 U
	9/18	土	18:00 ★	サンフレッチェ広島レジーナ vs マイナビ仙台レディース	広域第一
	9/20	月・祝	14:00 ★	大宮アルディージャ VENTUS vs アルビレックス新潟レディース	NACK
	9/20	月・祝	15:00 ★	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース vs ちふれ AS エルフェン埼玉	フクアリ
	9/20	月・祝	17:00 ★	三菱重工浦和レッズレディース vs ノジマステラ神奈川相模原	浦和駒場
	理念推進日			INAC 神戸レオネッサ	-
3	9/25	土	16:00	日テレ・東京ヴェルディベレーザ vs サンフレッチェ広島レジーナ	味フィ西
	9/26	日	13:00	INAC 神戸レオネッサ vs ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	ノエスタ
	9/26	日	14:00	アルビレックス新潟レディース vs ちふれ AS エルフェン埼玉	デンカ S
	9/26	日	15:00 ★	ノジマステラ神奈川相模原 vs AC 長野パルセイロ・レディース	ギオン S
	9/25(土)or26(日)		13:00	マイナビ仙台レディース vs 大宮アルディージャ VENTUS	ユアスタ
	理念推進日			三菱重工浦和レッズレディース	-

★：ホーム開幕戦

※ 試合の様子は、オフィシャルブロードキャスティングパートナー『DAZN』にてライブ配信します。

※ チケット情報は、決定次第お知らせします。

※ 「理念推進日」とは、WE リーグの理念「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」を体現するために、各クラブがアクションを起こす日です。取り組みの方針や各クラブの具体的な活動内容については改めてお知らせします。

なでしこリーグ リーグ戦日程

2021プレナスなでしこリーグ1部 日程（全22節）

	開催日	キックオフ	HOME	AWAY	スタジアム	
第16節	8/28 (土)	15:00	大和S	- F日体大	神奈川	大和
	8/28 (土)	15:00	愛媛L	- C大阪堺	愛媛	愛媛球
	8/28 (土)	18:30	名古屋	- アンジュ	愛知	名古屋港
	8/29 (日)	15:00	ニッパツ	- オルカ	神奈川	ニッパツ
	8/29 (日)	15:00	Aハリマ	- コノミヤ	兵庫	ウインク
	8/29 (日)	17:00	S世田谷	- 伊賀FC	東京	味フィ西
第17節	9/04 (土)	13:00	コノミヤ	- S世田谷	大阪	服部陸
	9/04 (土)	14:00	F日体大	- Aハリマ	神奈川	保土ヶ谷
	9/04 (土)	14:00	アンジュ	- 大和S	広島	広域第一
	9/04 (土)	18:00	C大阪堺	- 名古屋	大阪	ヤンフィ
	9/05 (日)	14:00	オルカ	- 愛媛L	千葉	鴨陸
	9/05 (日)	14:00	伊賀FC	- ニッパツ	三重	上野
第18節	9/18 (土)	13:00	大和S	- 名古屋	神奈川	大和
	9/18 (土)	13:00	コノミヤ	- ニッパツ	大阪	高槻萩谷
	9/19 (日)	13:00	Aハリマ	- アンジュ	兵庫	ウインク
	9/19 (日)	13:00	愛媛L	- 伊賀FC	愛媛	愛媛球
	9/19 (日)	15:00	オルカ	- C大阪堺	千葉	鴨陸
	9/20 (月)	13:00	F日体大	- S世田谷	神奈川	ニッパツ
第19節	9/25 (土)	13:00	伊賀FC	- オルカ	三重	上野
	9/25 (土)	13:00	コノミヤ	- 愛媛L	大阪	JG堺S1
	9/26 (日)	13:00	ニッパツ	- F日体大	神奈川	ニッパツ
	9/26 (日)	13:00	大和S	- C大阪堺	神奈川	大和
	9/26 (日)	14:00	S世田谷	- アンジュ	東京	味フィ西
	9/26 (日)	15:00	名古屋	- Aハリマ	岐阜	GF中池

2021プレナスなでしこリーグ2部 日程（全14節）

	日にち	キックオフ	HOME	AWAY	スタジアム	
第12節	9/25 (土)	13:00	湯郷ベル	- つくば	岡山	津山
	9/26 (日)	11:00	ac福島	- NORD	静岡	時之栖裾
	9/26 (日)	12:00	バニーズ	- 静岡	群馬	敷島補助
	未定	未定	福岡AN	- 吉国大C		未定
第13節	10/02 (土)	12:00	静岡	- 湯郷ベル	静岡	ゆめりあ
	10/02 (土)	13:30	つくば	- 吉国大C	茨城	ひたちな
	10/02 (土)	14:00	ac福島	- バニーズ	静岡	時之栖裾
	10/03 (日)	11:00	NORD	- 福岡AN	北海道	札幌厚別
第14節	10/10 (日)	13:00	バニーズ	- つくば	群馬	敷島
	10/10 (日)	13:00	湯郷ベル	- ac福島	鳥取	Axis
	10/10 (日)	13:00	吉国大C	- NORD	岡山	高梁神原
	10/10 (日)	13:00	福岡AN	- 静岡		未定

※日程は変更になっている場合がございます。

最新の日程は「なでしこリーグ」のHPまたはホームチームのHPをご確認の上、ご来場ください。

なでしこリーグ情報

2021プレナスなでしこリーグ1部 全132試合 LIVE配信 実況付き
全試合  YouTube「なでしこリーグチャンネル」でご覧いただけます！

<https://www.youtube.com/user/nadeshikoleague1>



なでしこリーグチャンネル
チャンネル登録者数 2.03万人

[ホーム](#) [動画](#) [再生リスト](#) [コミュニティ](#) [チャンネル](#) [概要](#) [検索](#)



【公式】第13節フルマッチ：伊賀FCくノ一三重 (緑) vs NGU ラブリッジ名古屋

6,989 回視聴・1 日前 に配信済み

アマチュア女子サッカーリーグの最高峰『2021プレナスなでしこリーグ』

6月27日 第13節フルマッチ：伊賀FCくノ一三重 vs NGU ラブリッジ名古屋

<試合詳細・スタメン情報>
<http://www.nadeshikoleague.jp/2021/13>
詳細

2021プレナスなでしこリーグ1部フルマッチ ▶ [すべて再生](#)



【公式】第13節フルマッチ
チ：伊賀FCくノ一三重...



【公式】第13節フルマッチ
チ：オルカ鶴川FC (青) ...



【公式】第13節フルマッチ
チ：愛媛FCレディース (...)



【公式】第13節フルマッチ
チ：コノミヤ・スベランツ...



【公式】第13節フルマッチ
チ：セレッソ大阪堺レディ...



【公式】第13節フルマッチ
チ：ニッパツ横浜FCシー...

また毎週、月曜日に各節のダイジェスト動画もアップしています。
その他、過去の試合や企画映像もありますので、「なでしこリーグチャンネル」をご覧ください！

■なでしこリーグホームページ <http://www.nadeshikoleague.jp/>

なでしこひろば



【開催の様子をご紹介します】

◆Fantasista栃木（栃木県） 6月19日（土）

2021年度より毎月第3土曜日に開催。3回目の6/19（土）は高校生2名、中学生1名、小学生5名の女子と小4男子2名の計10名が参加。また、毎回、中3男子2名がサポートコーチとして参加しています。

全員が1回目から継続参加しているので、和やかな雰囲気でもウォーミングアップ。ボールを手で扱うストレッチ。足元でのボールコントロール。サポートコーチが見本を見せポイントを伝えながらの技術伝授。ミニゴールへのシュート練習でゴールを決め、爽快感が高まったところでゲームへ。

サポートコーチを含め6対6。ボールに触れる機会が多くなるようにボール2個で10分間のミニゲーム。ボールを求める声とゴールを決める喜びが広がるとともに、ボールは3個、ゴールも2個ずつ用意して10点先取のミニゲーム。

たくさんのゴールと笑顔と歓喜があふれる80分でした。



◆FeliceFutsalClub（宮崎県） 6月26日（土）

6月26日（土）にサンドーム日向（宮崎県）にて「JFAなでしこひろば in サンドーム」を開催しました。今回2回目の開催です。宮崎県県北地区の小学生から中学1年生までの女子23名が参加しサッカーを楽しみました。

はじめてサッカーする子、初対面の子もいるのでアイスブレイク、一緒に出来るボールコーディネーションを行いながら盛り上がり、低学年、高学年に分けてゲーム。子ども同士でアドバイスをする姿、声を掛け合う姿も見れ、楽しい雰囲気を作っていました。

最初は緊張した顔だった子達も次第に笑顔になり、笑い声でいっぱいになっていく様子がとても嬉しく思いました。

宮崎県内に『なでしこひろば』を広め、たくさんの女の子達がサッカーを始めたり、楽しく続けることが出来る機会を作っていきたいです。

また遊びに来てください！



◆クローバー米子フィオーレ（鳥取県） 6月27日（日）初回開催

鳥取県は全国的に見ても女子サッカー人口が特に少ないため、私たちの行う「なでしこひろば」では普及を目的に小学生以下の子どもたちを対象に取り組むことにしました。

小学生以下といっても、年齢やレベルに大きく差が出てしまうため、同じメニューに取り組む中で、小学生以下の子どもたちと小学生以上の子どもたち、それぞれのレベルにあった手立てができるよう心がけました。

この日、当クラブで初めてのなでしこひろばには15名の子どもたちが参加してくれました。

初めてサッカーを体験する子も多かったので、少し緊張していた様子でしたが、ウォーミングアップで行った「しっぽとり」でたくさんしっぽを取り、徐々に笑顔が増えていきました。

次にコーン当てゲームを行いました。当たったら少しずつコーンから離れた場所から蹴るというルールに、どれだけ遠くからコーンに上手く当てることができるか挑戦し、慎重にコーンを狙ってボールを蹴る子どもたちの真剣な顔が印象的でした。

そして、次に行ったドリブルシュートの練習では、脚でボールを扱う難しさを感じながらも、一生懸命ボールを運び、ゴールに力いっぱいシュートして、それが入ると「やったあ！」と嬉しそうに喜ぶ姿がたくさん見られました。

小学生以上のサッカー経験のある子どもたちには、実際のゴールにキーパーをつけたり、コーチがDF役となったりして、より実際のゲームの状況に近づけて取り組めるようにしました。コーチを相手に子どもたちは本気モードで、力いっぱいシュートしてたくさん得点を決めることができました。

最後は全員で一緒に試合を行いました。子どもたちみんながたくさんボールに触れるように、5つのボールを同時に使って行い、1つのコートの様々な場所で攻防が行われる、とても見ごたえのある試合になりました。

今回初めてサッカーをする子どもも多くいたのですが、積極的にボールを追いかけ、ゴールを決めた子もいました。小学生の子の中には、自分より小さな子に教えてあげたり、「いけるぞー！」と応援したりしている素敵な子もいて、子どもたち自身でサッカーを楽しんでいるなと感じました。

参加してくれた子どもたちから「楽しかった！」「また絶対来る！」という声や、保護者の方からも「またぜひ参加させてください」と嬉しい声を聞くことができました。

次回も子どもたちがサッカーの楽しさを存分に味わえるように、メニューや環境づくりの工夫をして取り組んでいきたいです。



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

全国都道府県別認定団体数及び2021年6月開催申請数

都道府県	団体数	開催申請数	都道府県	団体数	開催申請数
1 北海道	15	3	25 滋賀県	6	3
2 青森県	5		26 京都府	8	2
3 岩手県	5	8	27 大阪府	18	
4 宮城県	10	3	28 兵庫県	10	
5 秋田県	3	3	29 奈良県	3	1
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2	1	31 鳥取県	5	1
8 茨城県	8	1	32 島根県	1	
9 栃木県	16	7	33 岡山県	10	
10 群馬県	4		34 広島県	9	
11 埼玉県	35	3	35 山口県	2	
12 千葉県	11		36 香川県	6	
13 東京都	57	5	37 徳島県	4	2
14 神奈川県	24	5	38 愛媛県	3	
15 山梨県	6		39 高知県	2	
16 長野県	11	4	40 福岡県	12	1
17 新潟県	7	2	41 佐賀県	6	2
18 富山県	4	2	42 長崎県	6	
19 石川県	6	1	43 熊本県	4	
20 福井県	5		44 大分県	5	1
21 静岡県	11	7	45 宮崎県	3	2
22 愛知県	20	4	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10		47 沖縄県	8	
24 岐阜県	5	2	合計	418	76

【2021年6月データ】

- ・ 全国登録団体数 : 418団体
- ・ 新規登録団体数 : 10団体
- ・ 認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (57団体)
 - 2) 埼玉県 (35団体)
 - 3) 神奈川県 (24団体)
- ・ 全国開催申請数 : 76開催
(5月開催申請数は64開催、12開催増)

沖縄県や九州南部では梅雨明けが発表されましたが、各地で大雨による災害が発生しています。新型コロナウイルスも依然として油断できない日々が続いていますが、皆様、くれぐれもお気をつけてお過ごしください！そんな中でも、開催数申請数や新規のご登録団体様数も少しずつ増え、楽しく開催していただいたご報告もいただいています。状況は厳しいですが、ご無理のない範囲で、今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

【事務局の受け付けが変更になりました】

2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

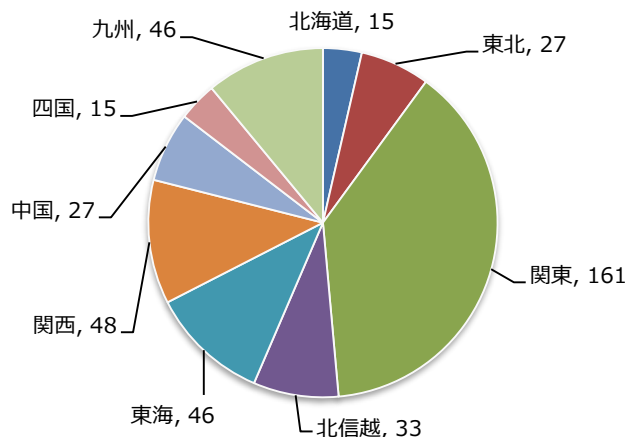
これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp

(今までのアドレスと変更ありません)

地域別認定団体数

北海道	15カ所
東北	27カ所
関東	161カ所
北信越	33カ所
東海	46カ所
関西	48カ所
中国	27カ所
四国	15カ所
九州	46カ所
【合計】	418カ所



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2021年8月10日（火）ごろ配信予定です。お楽しみに！